

この秋初飛行 ようやく採算ラインに 三菱航空機の「MRJ」離陸戦略

60
創刊60周年

平成25年2月26日発行(隔週火曜日)平成25年2月12日発売 昭和28年10月3日第三種郵便物認可 第61巻第5号

財界

ZAIKAI
a Japanese business biweekly

活断層問題、非常時の対応が
課題となる中——
「第2、第3の安全システムを！」
原子力規制委員会委員長
田中 俊一

2013 2/26

特集・「アベノミクス」を
受けて企業トップはいま…

大和ハウス工業会長兼CEO
樋口 武男
キッコーマン取締役名誉会長
茂木 友三郎
エイチ・アイ・エス会長
澤田 秀雄



上海、ソウル、ムンバイなど新興市場が追いつける中で——
日本取引所グループCEO・齊藤惇の
若者の挑戦を支援し、投資を呼込む日本市場を

村田博文

表紙の人
平和堂社長
夏原 平和
撮影 平岡 仁

トピックス

- 8 トヨタが5年ぶりに単独黒字 自動車回復が鮮明に
- 9 ソニーを軸にリチウムイオン電池で事業再編に乗り出す産業革新機構
- 10 住友化学が国内でのエチレン生産撤退 付加価値品で生き残りの時代
- 11 電力システム改革論議が大詰め 発送電分離に反発強める電力業界
ミニ舌評… 神戸製鋼所社長に川崎博也氏が昇格、来期黒字化が必達目標 など3本

連載

- 82 **維新の時 塚屋 太一**
第10回 やっぱ「外交」は難しい

新連載

- 85 **にしうらみどりの「宇宙の窓から」** 第1回
宇宙飛行士は、最高の宇宙大使

大学全入時代の大学経営のあり方

- 86 **21世紀大学経営協会副理事長 関 昭太郎**
「これからの大学は整理淘汰が始まる。教育哲学、教育の質、キャリア教育、経営の透明性が担保されない大学は淘汰されるだけだ」

コンフィデンシャル

- 62 ①りそなHD社長に東和浩氏が昇格 檜垣誠司現社長は取締役退任へ②コマツ新社長に大橋徹二専務 坂根正弘会長は相談役へ③竹中工務店社長に宮下正裕氏 創業家以外からの初の社長登場④口ーソン玉塚元一氏が海外担当 次期社長への布石か? など9本

政界レポート

- 68 成長戦略の具現化が急務となったリアリスト・安倍首相

霞が関情報

- 72 13年度予算案は裏技駆使 綱渡りの財政運営続く(財務省)／2年ぶりに電事連と意見交換(経産省)／アルジェリア事件で異例のスピード対応(外務省)／地方公務員の給与削減巡り新政権と地方がバトル(総務省) など7本

- 117 増税時代のかしこい知恵 第2回 **よつば総合事務所 代表社員 CEO 神門 剛**

連載

- 12 TMトピックス No.45 女性の社会進出に関して会員各氏が意見交換——
「女性の社会進出を促すには、欧米のような強制力のある法制も必要」
- 80 **スガシタパートナーズ社長 菅下清廣の「株価はどう動く？」**
第80回 アベノミクス相場は2月小休止、4月高値に
- 92 「著名な無名人」を訪ねて 第192回 **永野 芳宣**
世の中をリードする名人技を秘めた達人たち(その22)

◆人・ヒト・ひと

ベインキャピタル・ジャパン会長 **堀 新太郎**

グラビア

- 100 **◆経営写** エー・ピーカンパニー社長 **米山 久**
- 104 **◆ゆかいな仲間** のじまスコラ (南部靖之・パナグループ代表とイタリアンジェフの奥田政行さん)



コラム

- 14 備えよ 常に **奥島 孝康**
- 15 これからの日本経済 **久水 宏之**
- 17 富良野風話 **倉本 聡**

財界豆知識

- 95 法律知識 **平岡 卓朗**
- 96 英楽通法 **浦出 善文**

連載

- 57 経済の本質を衝く! **河野 龍太郎**
- 67 習近平の中国 **相馬 勝**
- 84 一筆入魂 **鳶 信彦**
- 90 ポジティブ経営学 **村田 昭治**
- 98 広報の窓

財界クラブ

- 120 すいだん横丁
- 122 人生の転機 **島本 久美子**
- 123 忘れられないこの言葉 **高島 靖雄**
私の健康法 **中野 裕**
- 124 ずいひつ **野間口 有/中島 龍男/勝見 泰彦**
- 127 私の好きな場所 **程 近智**

ブックレビュー

- 97 著者に聞く **朝倉 智也**
『低迷相場でも負けない資産運用の新セオリー』
私の感動した本 **福井 康夫**

- 128 私の雑記帳
- 130 編集後記

■ 本誌に対するご意見、感想などを、最終ページにあるメールアドレスまたは、住所までお寄せ下さい。

『財界』編集部



The world of space through my eyes

新連載 第1回

“国際派大和撫子”が伝える宇宙の開発現場

にしうらみどりの

「宇宙の窓から」

20年来グローバル コミュニケーションズ エキスパート。JAXAエグゼクティブ アドバイザー(広報・国際担当)、国立大学法人山口大学客員教授(国際関係+コミュニケーション論)、評論家・オピニオンリーダー。東京生まれ、英国育ち。講演、テレビ、執筆、政府委員など、マルチに活躍する中で、IRと都市開発のコンサル会社代表も務める。
<http://www.nishiuramiodori.com>

宇宙飛行士は、最高の宇宙大使

読

者の皆様、2008年に「大宇宙の窓から」という連載の中で、主に男女の性差なきグローバル人材の育成、活用の急務につき問いかけをしてきました、西浦みどりです。みどりの窓シリーズ、今回は「宇宙の窓から」をスタートいたしますので、月1回1年間、お付き合い頂けましたら嬉しゅう存じます。

さて、少年少女の憧れといえば、宇宙飛行士がトップランキングに入るそうです。宇宙では宇宙服に身を包み、命がけの難しい船外活動に挑む勇敢な姿や、地上ではブルースーツで颯爽と登場するのですから納得です。

そんな宇宙飛行士も、それぞれ多才、多趣味で、数々の長期間に亘る宇宙ミッション実績を誇る野口聡一・宇宙飛行士も例外ではありませぬ。特に写真は、かなりの腕前だということをご存知でしょうか。

野口さんがISS(国際宇宙ステーション)や宇宙を撮った映像が大部分使われた映画『シヨパンザ

スペースコンサート』がモナコ国際映画祭でグランプリに輝きました！ ポーランドのウステイノヴィッチ監督がシヨパンの名曲を付けて制作した幻想的で素晴らしい作品です。

600の応募作品の中から20作が選定され、最優勝賞のエンジェルアウオードが最終日最後に発表されます。そもそも開催式の上映作品に選定されていたので、筆者は現地に飛び、JAXAのグローバルコミュニケーションズ(国内を含む世界広報)を遂行しました。

数日後、いよいよその瞬間、「エンジェルアウオードは、シヨパンザスペース」と呼ばれたときには、驚きと感動で、監督やお嬢さんのナタリーアと抱き合せて喜びを分かち合いました。

昨年で10周年を迎えたモナコ国際映画祭は、小規模ではあるものの、志は高く、テーマが非暴力、世界平和です。この映画制作に関しても、前述のポーランドのウステイノヴィッチ監督、ポーランド系米

人宇宙飛行士のジョージ・ザムカさん、そして、日本の野口宇宙飛行士という、三者の融合により、日本も大きく世界平和と親善のメッセージを発信することができました。

ジャパンプレゼンス向上に寄与できたということと、「日本のためにJAXAは何が出来るか」を常に念頭において活動している筆者としても、達成感の高い、幸多い仕事となりました。また、日々の同僚たちとの頑張りや皆様方の応援、御支持を思うと、感極まるものがありました。

生憎、野口宇宙飛行士は、都合で欠席となりましたが、堀川康・国連宇宙空間平和利用委員会議長・外務省参与(JAXA技術参与)に出席して頂くことができ、受賞やインタビューの様子がBBCワールドなどニュース番組でも報道されました(写真右)。
日本が元気になるニュース、分かち合いたくて。

